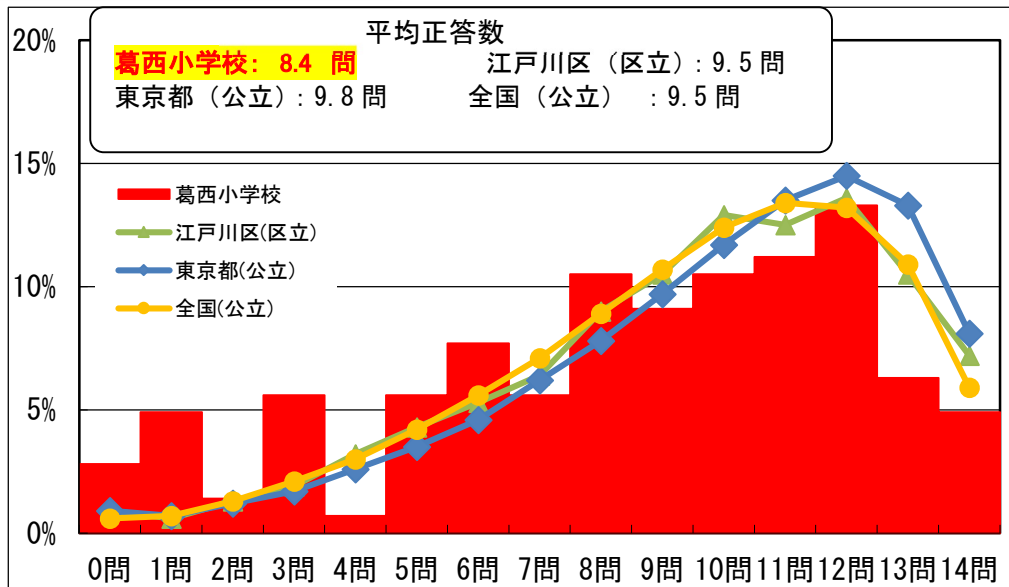


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 葛西小学校

## 正答数分布



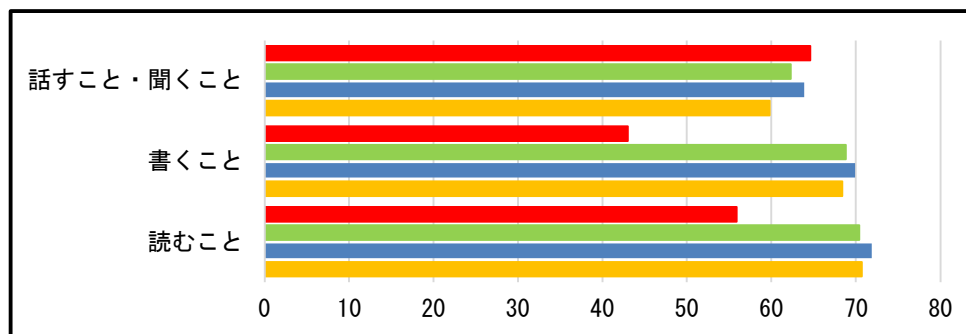
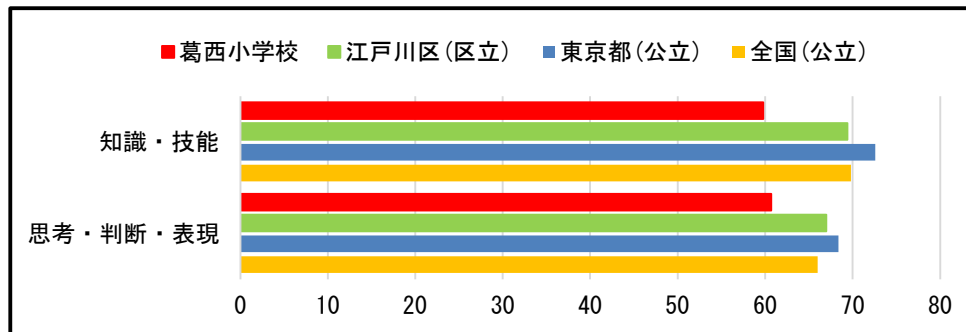
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
<b>葛西小学校</b>	<b>23.4</b>	<b>21.3</b>	<b>18.6</b>	<b>33.7</b>
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

<b>葛西小学校</b>	<b>60%</b>
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	<b>10ポイント</b>

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

- ・C層児童を中心に指導の個別最適化を図る必要がある。前学年までの学習内容につまずきがある児童が多いため、授業の導入等で本時に関わりのある既習事項を復習できるようにする。
- ・児童が課題解決につまずいた際には、友達と対話的に課題解決できるような環境をつくる。
- ・問題の導入を工夫し、児童が主体的に課題解決に取り組めるようにしていく。